

中施策評価書

作成日 令和06年 6月 11日

中施策事業名	消費者相談事業	部課名	経済建設部・産業支援課
		作成者	塚谷友昭
①めざすまちの姿	15 誰もが身近に寄り合える場所があり、地域の人と支え合いながら孤立することなく暮らすことができている		
②大施策	身近に寄り合える場所をつくり、地域で支え合える環境をつくる		
③中施策	サービスや支援を充実し、負担を軽減する		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	消費生活相談窓口の解説や対処方法が周知されていて、消費者の安全が確保されている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 消費者団体 ・ 消費者相談 ・ 消費者問題 ・ 消費生活講座		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
消費生活相談件数 (単年度)	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	200	205	210	215	220	225
	実績値	214	212				
単位	件						
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額	
				令和04年度	令和05年度	令和06年度	
① 総事業費 (a+b)				3,011千円	3,661千円		
	a 事業費合計			3,011千円	3,661千円	3,101千円	
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人		
			b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人		
			金額	0千円	0千円		
		人件費合計			0千円	0千円	
		② 補助金等 (収入)				1,911千円	1,868千円
③ コスト (①－②)				1,100千円	1,793千円		
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				16 円	26 円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体に関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 平成29年度より開設日を週4日として継続している。地域包括ケア連絡協議会との連携及び老人クラブ、高校への出前講座を行い、より一層の健全な消費生活の維持及び予防を図ることができた。 相談員間の連携として、4ヶ月に一度の打ち合わせ会を行い、市担当者とも情報の共有を図った。また、相談内容ごとの対応に関しても勉強会を行い、適正な助言等の確認を図ることができた。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	開設日を週4日として継続していく。見守りネットワークとして、地域包括ケア連絡協議会と連携して、関連団体向けの出前講座の実施に向けて調整を図っていく。また、若者向けの啓発活動として、高校に加え、中学生向けの出前講座の実施に向けて調整を図っていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	高齢者・若者の消費生活を守るため、センター運営を維持しながら出前講座の充実を図っていく。老人クラブ以外での出前講座の実施に向けて、人の集まる会議などにも出前講座の周知を図る。 新たな手口によるトラブルの増加を防ぐため、効果的な防止策について、調査研究を相談員と連携しながら進めていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 6月 11日

中施策事業名	ふるさと豊明応援寄附推進事業	部課名	経済建設部・産業支援課
		作成者	塚谷友昭
①めざすまちの姿	24 税収が確保され、持続可能な財政運営となっている		
②大施策	収入を確保し、持続可能な財政運営を行う		
③中施策	税収を増やす等、収入を確保する		
④中施策事業の対象	全国納税者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	ふるさと納税を行うことにより、豊明市の行政に貢献できていると感じ、またお礼の品を賞味や体験することにより、豊明市の魅力を感じている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ふるさと納税の発送・受付 ・ふるさと納税の拡大・啓発事業		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
ふるさと豊明応援寄附額（単年度）	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	30,000,000	30,000,000	35,000,000	43,000,000	45,000,000	45,000,000
	実績値	21,133,000	16,338,000				
	単位	円					
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
	単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				10,428千円	7,691千円	
	a 事業費合計			10,428千円	7,691千円	11,509千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計			0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)				10,428千円	7,691千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				152 円	112 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	あまり貢献できなかった	×	
	重点をおく指標は妥当でしたか	指標自体を見直す必要がある	×	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体に関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より遅れている	×	C

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	C 国のふるさと納税に関する新たな改正にともない、出品されていた商品が一部出品できない状況が起きた。返礼品に対する基準の適合に関して国の審査が行われるようになったため、厳格な審査により出品を断念するケースもあり、審査で適合されても、結果が届くまで出品できないなど、迅速に出品することができなくなった。また、改正前の駆け込み需要時には、返礼品の魅力の高い地域に寄付が集中し、改正後は、その反動も重なり寄附額が減少となった。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	寄附の減少傾向が続いているが、クラウドファンディングによる使い道に共感を得られる事業を継続的に掲げて寄附を募ったところ、一定の効果があつた。 返礼品の新規開拓と併せ、クラウドファンディングを活用したふるさと納税の実施を継続していく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	①クラウドファンディングの実施の際には、関係機関と連携してPRの強化を図り、広く知ってもらうようための工夫をする。 ②国基準にあった商品を市場調査の上、継続して提供を依頼していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 7月 16日

中施策事業名	観光活性化事業	部課名	経済建設部・産業支援課
		作成者	塚谷友昭
①めざすまちの姿	31 豊明市に魅力があふれ、「通過するまち」から、「足を運んでいただけるまち」になっている		
②大施策	とよあけの魅力を高め、訪れる人を増やす		
③中施策	「行きたい」場所をつくる		
④中施策事業の対象	市民及び市外在住者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	史跡観光やイベントへの来場者が増加し、市全体が賑やかに感じられる 市内観光史跡に興味をもち、知識を深めることにより郷土愛が醸成している		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	- 観光行政 - 観光施設整備 - 地方創生事業（観光まちづくり） - 地方創生事業（ブランディング）		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
ボランティアガイドによる来客ガイド数（単年度）	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000
	実績値	4,024	11,040				
単位	人						
地域学校向ボランティアガイド回数（単年度）	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	3	3	3	3	0	0
	実績値	0	0				
単位	回						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				6,969千円	10,444千円	
	a 事業費合計			6,969千円	10,444千円	10,558千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
② 補助金等（収入）				0千円	0千円	0千円
③ コスト（①－②）				6,969千円	10,444千円	
市民一人あたりコスト (③÷市の人口(評価対象年度末時点))				101 円	152 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B まちづくり指標「市外から呼べるような場やイベントがあると思う市民の割合」が低迷しているが、コロナ禍の制限も解除されつつあり、「桶狭間古戦場まつり」は4年ぶりに開催する事ができた。また、NHK大河「どうする家康」の影響を受けて、県の観光推進協議会とともにPRすることによって、段々と桶狭間古戦場伝説地への来客者数が戻ってきた。 ガイドボランティアの日頃の活動も活発化しており、講演会など自主事業が行える状態にまで活動が活発になり継続したガイドができた。 SNSによる、市内外に対して一斉発信を実施することで周知強化することができた。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	「桶狭間古戦場まつり」の継続的な開催のため、役員の交代を機会に、マンネリ化したまつりとならないように工夫して実施する。 三大合戦ゆかりの地として関連自治体との相互出展連携を継続し、定着化を図っていく。 豊明駅に設置された顔出しパネルなどを、SNSを活用して、周知するとともに賑わいの創出につなげていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	①名鉄ハイキングの撤退により沓掛城址公園への来場者減少を防ぐため、地元の市民にも参加してもらえる企画を取り入れる。 ②次の大河ドラマ「豊臣兄弟」を活用してPRできるように調査研究し、準備を進めていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 12月 12日

中施策事業名	商工業振興補助事業	部課名	経済建設部・産業支援課
		作成者	塚谷友昭
①めざすまちの姿	32 市内に遊ぶ場所や働く場所があり、豊明市が潤っている		
②大施策	地域の経済活動が盛んなまちをつくる		
③中施策	産業の活性化を図る		
④中施策事業の対象	商工会、商工事業者、創業予定者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市の安定した雇用対策や商工会の運営、新規創業する事業者の増加で商工業が発展している		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 商工会等への指導及び育成 ・ 新型コロナウイルス感染対策に関する補助金等 ・ 商工会等への補助金 ・ 空き店舗活用事業補助金 ・ 社宅整備費補助金		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
豊明市商工会会員数のうち「建設・製造・卸売小売・飲食業」の計	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	800	800	800	800	800	800
	実績値	697	722				
単位	名						
空き店舗及び社宅整備、水まわり補助（令和元年度終了）の累計件数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	10	14	16	18	20	22
	実績値	13	15				
単位	件						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				21, 770千円	21, 723千円	
	a 事業費合計			21, 770千円	21, 723千円	21, 770千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)				21, 770千円	21, 723千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				316 円	316 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B：商工業の振興を側面から支援するため、主に商工会への補助を行ってきた。コロナ禍を経て、創業に関する問い合わせが増えてきたため、空き店舗の活用を含めて補助制度の組み直しを進めたい。 社宅整備補助事業は2件の申請があったため、制度としては認知されていると思われる。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	補助事業のため、補助対象者である商工会とともに市内事業者の情報共有とPRを引き続き行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	企業支援の施策は主に商工会を通じてPRするため、商工会への入会メリット等の紹介と併せて、補助制度の活用や入会を促していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称) とよあけ事業者応援選べる補助金	内容、理由、時期等 商工業振興のため、小規模企業者等で雇用確保事業等を実施した者に対し交付（令和7～9年）
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 6月 19日

中施策事業名	商工業の育成振興事業	部課名	経済建設部・産業支援課
		作成者	塚谷友昭
①めざすまちの姿	32 市内に遊ぶ場所や働く場所があり、豊明市が潤っている		
②大施策	地域の経済活動が盛んなまちをつくる		
③中施策	産業の活性化を図る		
④中施策事業の対象	市民、市外在住者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	商工業者に活気があり、経済活動が活発化して、市内での消費が拡大している		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 商工業振興資金・信用保証料助成 ・ 商店街振興 ・ 地方創生事業（花マルシェ）		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
地域ブランド関連 商品数（延べ）	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	15	15	15	15	15	15
	実績値	15	33				
単位	個						
地域ブランド関連 イベント開催回数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	12	12	13	14	14	14
	実績値	20	6				
単位	回						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				143,685千円	142,722千円	
	a 事業費合計			143,685千円	142,722千円	81,115千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				14,000千円	21,000千円	0千円
③ コスト (①－②)				129,685千円	121,722千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				1,884 円	1,769 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体に関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B：新型コロナウイルス感染拡大の影響が長期化しており、融資を受けた商工業者が多いため、セーフティネットの認定や信用保証料の助成等の支援を行った。 また、物価や光熱費等の高騰により影響を受けた市民の負担を軽減するとともに、小規模事業者の経営と新たな顧客獲得を支援する目的として地元応援割引券を発行し、市内での消費を促した。 「とよあけ花マルシェ」は、イベント以外にもSNSを活用して広くPRすることができた。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	「とよあけ花マルシェプロジェクト」が主催するイベントには、市民よりも市外からの来場者が増えてきている。広告費のかからないSNSによるPR効果の表れとして、これからも継続して発信を続け、花の街「とよあけ花マルシェ」のブランド化を更に広めていく。 地元応援割引券事業は、事業者、市民ともに好評であるため、物価や景気の状態を見極めながら適宜実施することを検討する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	割引券事業も含めて、事業者支援に重点を置いた補助金のあり方について検討する。 「とよあけ花マルシェプロジェクト」の基盤となる市民主体での運営に向けて、事業主体者と調整しながら進めていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 4月 24日

中施策事業名	企業留置事業（補助金交付事務）	部課名	経済建設部・産業支援課
		作成者	塚谷友昭
①めざすまちの姿	32 市内に遊ぶ場所や働く場所があり、豊明市が潤っている		
②大施策	地域の経済活動が盛んなまちをつくる		
③中施策	産業の活性化を図る		
④中施策事業の対象	市内の企業		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市との信頼関係が構築され、企業が引き続き豊明市を拠点として活動している。		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 企業再投資促進補助金		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
補助事業認定申請 累計件数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	6	7	7	8	8	8
	実績値	6	6				
単位	件						
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額	
				令和04年度	令和05年度	令和06年度	
① 総事業費 (a+b)				0千円	43,189千円		
	a 事業費合計			0千円	43,189千円	55,066千円	
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人		
			b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人		
			金額	0千円	0千円		
			人件費合計			0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)				0千円	16,594千円
③ コスト (①－②)				0千円	26,595千円		
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				0 円	386 円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B：令和5年度は、前年に認定した2事業が操業し、再投資補助金を交付した。
-----------------------------	--------------------------------------

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	事業認定を行った企業に対して、操業の確認や補助金の交付申請手続きについて支援を行う。 再投資補助金を交付した企業へのフォローアップにより効果検証を行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	事業者支援ガイドの電子版を市ホームページに公開することにより、広範囲への周知を図る。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 3月 26日

中施策事業名	企業留置事業（企業訪問事務）	部課名	経済建設部・産業支援課
		作成者	塚谷友昭
①めざすまちの姿	32 市内に遊ぶ場所や働く場所があり、豊明市が潤っている		
②大施策	地域の経済活動が盛んなまちをつくる		
③中施策	産業の活性化を図る		
④中施策事業の対象	市内の企業		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市との信頼関係が構築され、企業が引き続き豊明市を拠点として活動している。		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 指定集積業種判定		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
企業訪問累計件数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	130	130	130	130	130	130
	実績値	98	100				
単位	件						
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				169千円	162千円	
	a 事業費合計			169千円	162千円	182千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
	② 補助金等 (収入)				0千円	0千円
③ コスト (①－②)				169千円	162千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				2 円	2 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B：商工会を通じて市内事業者に市の事業者支援パンフレットを配布し、補助金等の支援策を活用いただくようPRした。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	市内移転や事業拡大を計画している企業を中心に訪問し、支援策の紹介を行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	引き続き企業訪問を行い、市内での再投資を支援する。 また、事業継続に関する支援策の検討を行う。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 6月 19日

中施策事業名	企業誘致事業	部課名	経済建設部・産業支援課
		作成者	塚谷友昭
①めざすまちの姿	32 市内に遊ぶ場所や働く場所があり、豊明市が潤っている		
②大施策	地域の経済活動が盛んなまちをつくる		
③中施策	産業の活性化を図る		
④中施策事業の対象	製造業及び新規有望分野の企業		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	産業団地への企業誘致		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 産業立地（企業誘致） ・ 企業立地促進条例		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
企業の立地面積（意向確認分）	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	12	12	12	12	12	12
	実績値	29	35				
	単位	ha					
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
	単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				110千円	106千円	
	a 事業費合計			110千円	106千円	165千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)			0千円	0千円
③ コスト (①－②)			110千円	106千円		
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				2 円	2 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体に関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B：柿ノ木工業団地の2次分譲申込みがあった企業の評価を行ったうえで、企業庁に意見として提出した。 企業庁審査会を経て令和6年6月頃に内定企業が決まる。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	空き区画については引き続き誘致活動を行う。 企業の業態を把握し、地域と共存できる優良企業を誘致できるよう県企業庁と歩調を合わせて進行管理を行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	企業からのニーズを把握したうえで積極的に誘致を行う。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 4月 24日

中施策事業名	雇用就労対策事業	部課名	経済建設部・産業支援課
		作成者	塚谷友昭
①めざすまちの姿	39 若い人たちが地元で働ける		
②大施策	若い人たちの地元での就労を促進する		
③中施策	若い人たちが働きやすい労働環境づくりを支援する		
④中施策事業の対象	市内事業者、求職者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市内企業の魅力が発信され、市内企業への就職が促進されている。		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 労務相談 ・ 雇用対策 ・ 移住支援事業		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
就職活動支援イベント等の情報発信数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	12	12	12	12	12	12
	実績値	12	12				
単位	回						
企業合同説明会参加企業所数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	24	24	24	24	24	24
	実績値	21	26				
単位	社						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				33千円	33千円	
	a 事業費合計			33千円	33千円	3,038千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
	② 補助金等 (収入)				0千円	0千円
③ コスト (①－②)				33千円	33千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				0 円	0 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体に関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B：雇用就労対策として、近隣自治体と合同開催の就職ガイダンス及び愛知労働局所管ハローワーク名古屋南との共催による市内事業者を対象とする就職フェアを開催することで、就労希望者と雇用者が接する機会を提供した。 就労に繋がらない若年者を対象に、なごや若者サポートステーションの協力を得て若年者就労相談を行い、14件の相談があった。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	市広報やWEBサイト等でPRを行い周知を図る。就職フェア等を継続し、人材確保の機会を設ける。 引き続きなごや若者サポートステーションの協力を得て、若年者の就労相談を行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	人材確保に課題がありながらも、有効な採用活動ができない事業者が増加傾向にあるため、採用に関する支援策を検討する必要がある。 庁内及び他団体と連携し就労に対する障害を取り除くための協議などを行う。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 12月 12日

中施策事業名	創業支援事業	部課名	経済建設部・産業支援課
		作成者	塚谷友昭
①めざすまちの姿	39 若い人たちが地元で働ける		
②大施策	若い人たちの地元での就労を促進する		
③中施策	若い人たちの働く意欲・能力を高める		
④中施策事業の対象	市内在住、在勤、在学者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市内在住、在勤、在学者が、豊明市内で起業している		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 地方創生事業（しごと創出） ・ 起業・創業支援		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
創業実践セミナー の受講者数（延べ）	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	18	18	18	18	20	20
	実績値	21	41				
単位	人						
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				0千円	0千円	
	a 事業費合計			0千円	0千円	0千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)				0千円	0千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				0 円	0 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体に関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B：新規起業数実績について、第5次総合計画期間中のコロナ禍の影響を受け、コロナ禍前の水準まで戻っていない。その中で年度ごとに波はあるものの一定に推移している。一方、評価指標である「創業支援セミナー」では実施前に、図書館にて創業に関する書籍を紹介するコーナーを設けるなどの周知を行ったことでセミナーへの参加者が増え、関心は高まっていることがうかがえる。引き続き商工会や近隣自治体と連携してPRを続けていく。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	商工会でチラシを配布するとともに、市広報やWEBサイトでPRを継続して行う。創業支援セミナーについて市民へ周知するため、上記方法のほか図書館報やSNS、市役所内及び前後駅待合所にてパンフレットの配架などにより案内を行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	引き続き連携する自治体や商工会においてセミナーのPRを行う。セミナー参加者が実際に創業に繋がられるような支援策を検討する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称) 創業支援補助金	内容、理由、時期等 産業活性化のため、創業する者に対し交付（令和8～10年）
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等